

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

令和8年1月

広島高速道路債券の特徴

- 広島県・広島市の債務保証付きの公的セクター債券
 - BIS規制上のリスク・ウェイト『0%』(地方債と同等)

- ・公社による債務(元金及び利息の支払い)が履行遅滞となるとただちに広島県・広島市(設立団体)が、それぞれ1/2の額を分担して履行義務を負うため、迅速に支払手続きが可能

令和7年度広島高速道路債券(2月市場公募債)の概要

年 限	5年債・10年債を中心に起債
償還方法	満期一括償還
資金の用途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
起債時期	令和8年2月6日(予定)
発行時期	令和8年2月20日(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
格付け	広島県・広島市の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
主幹事	SMBC日興証券株式会社(事務)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券、

広島高速道路公社とは

- 地方道路公社法に基づき、国の認可と広島県・広島市の各2分の1の出資を受け、設立された特別法人
 - ・ 市場公募債を含む借入金等で道路を建設し、お客様から頂く通行料金により借入金を償還する「有料道路制度」を活用した非営利事業を実施

広島高速道路債券への投資意義

広島高速道路公社の整備効果

交通の円滑化・地域経済の振興

『JR広島駅』や『広島空港』、『広島港』といった広島都市圏の玄関口への交通アクセス改善により、観光やビジネスに経済効果が波及

都市の強靭化・生活の安心

広島高速道路は、『第一次緊急輸送道路』に指定されており、災害時でも円滑かつ確実な緊急搬送を実現

CO₂排出量の抑制・安全性向上

市街地の道路と比較し高速道路は定速走行が可能であり、
走行中のCO₂排出量や死傷事故リスクの抑制に寄与

広島都市圏における道路整備促進によって、地域経済の発展に寄与

広島都市圏の発展による交通需要の増加が、安定的な料金収入を支え、更なる道路整備を実現

広島高速道路ネットワーク図



発行実績

平成19年度から毎年度、継続的に発行しています。

	回号	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
直近実績	第35回	R6.11.29	34億円	5年	0.826%	100円	13.5bp
	第36回	R6.11.29	27億円	10年	1.182%	100円	12.0bp
	第37回	R7. 2.19	41.5億円	10年	1.376%	100円	10.5bp
	第38回	R7.11.28	37億円	5年	1.369%	100円	13.0bp



事業概要や債券発行情報については、「広島高速道路公社HP：企業・IR情報」からご覧いただけます。
(URL：<https://www.h-exp.or.jp/irinfo/>)

令和6年度 決算のポイント

■ 令和6年度の道路料金収入は約124億円

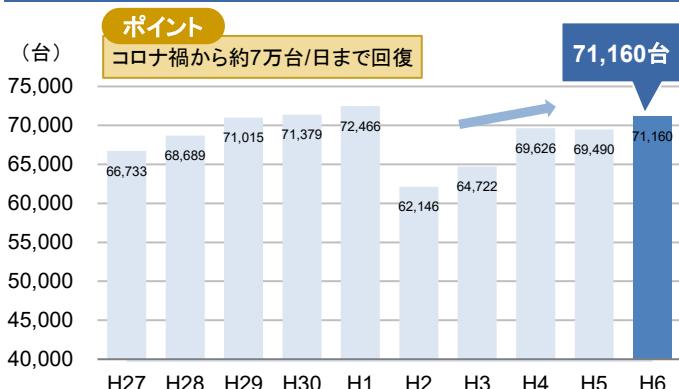
通行台数及び料金収入は、コロナ禍前ピークである令和元年度とほぼ同水準を推移

■ 堅調な道路料金収入を背景に、収支差益(償還準備金等繰入)を約35億円確保

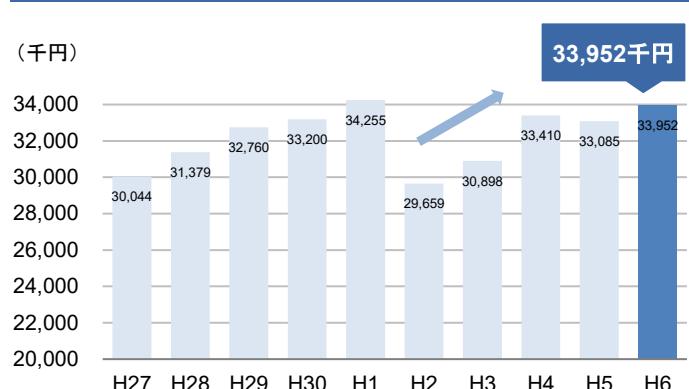
公社は設立(平成9年度)以来、毎年度確実に収支差益を計上し、全額を償還準備金等へ繰り入れている

道路への投下資金の回収額(償還準備金等)は約990億円と着実に増加

日平均通行台数の推移(直近10年間)

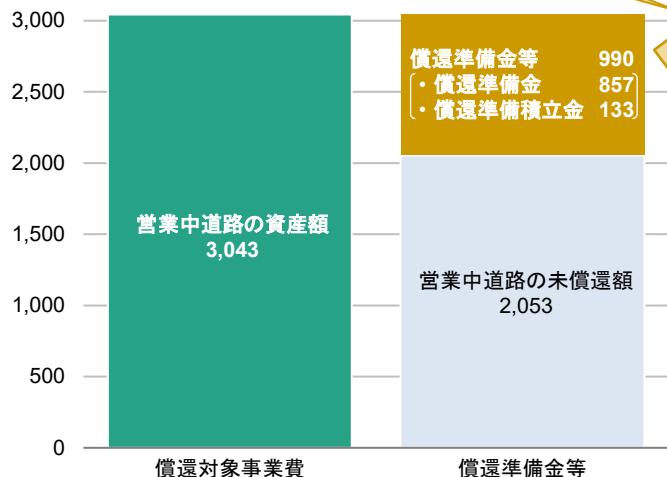


日平均料金収入の推移(直近10年間)

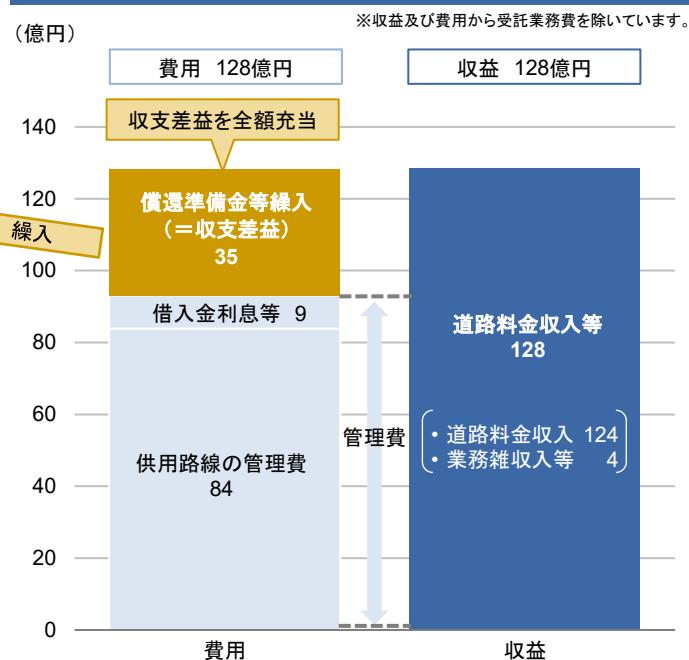


令和6年度末 債還状況(B/S抜粋)

(億円)
 1.道路への投下資金(借入金等) : B/S資産「道路」
 2.営業中道路で発生した収支差益:P/L費用「償還準備金等繰入」
 ⇒全額をB/S負債「償還準備金等」に繰り入れ
 →「償還準備金等」は道路への投下資金の回収額及び、これまでの収支差益の累計額を表す



令和6年度 営業中道路※の運営状況(P/L抜粋)



償還率の推移

(%)
償還率とは? 営業中道路への投資資金に対する償還準備金(回収額)の比率
 (償還率 = 債還準備金等 ÷ 営業中道路 × 100)

